

青梅市 自治会・支会活動事例集

平成29年度版



編集・発行 青梅市・青梅市自治会連合会

自治会・支会事例集の発行にあたって

青梅市内には、平成29年度現在11の支会、170の自治会があり、それぞれの地域特性にあったさまざまな活動を展開しています。

魅力ある自治会・支会活動を事例集としてまとめ、活発に取り組まれている自治会活動を広く市民の皆さんにお知らせすることとしました。

各自治会の活動内容や、地域の安心・安全のための防災活動などを掲載していますので、自治会活動の参考にご活用ください。

青梅市・青梅市自治会連合会



自治会・支会活動事例集 目次

「西分町自治会活動事例報告」 西分町自治会（第1支会）	1
「交流の場 本町夕涼み会の実施」 青梅本町自治会（第1支会）	2
「仲町自治会活動事例報告 平成29年仲町バーベキュー大会」 仲町2丁目自治会（第1支会）	3
「駒木町連合自治会」 駒木町連合自治会（第2支会）	4
「地域の和」 野上第1自治会（第3支会）	5
「大門第2自治会の活動事例」 大門第2自治会（第3支会）	6
「第34回第3ブロック地区運動会大会 盛り上がった赤い軍団」 谷野自治会（第3支会）	7
「納涼盆踊り大会」 木野下自治会（第3支会）	8
「今寺榎自治会事業の紹介」 今寺榎自治会・今寺西自治会（第3支会）	9
「“赤ボッコ”を守る！」 和田町連合自治会（第4支会）	10
「上郷文化祭の開催」 梅郷6丁目自治会（第4支会）	11
「忠霊塔の定期清掃」 第5支会	12
「防災広報と防災備蓄」 二俣尾2丁目自治会（第5支会）	13
「自治会敬老会」 沢井3丁目自治会（第5支会）	14
「秋空の下 スポーツ大会を開催」 小曾木3丁目自治会（第6支会）	15

「盆踊り大会」	
小曾木4丁目自治会（第6支会）	16
「ふれあいの輪の広がり」と連帯感を高めよう！」	
成木5丁目自治会（第7支会）	17
「第8支会東青梅4丁目自治会紹介」	
東青梅4丁目自治会（第8支会）	18
「東青梅6丁目自治会創立50周年記念式典」	
東青梅6丁目自治会（第8支会）	19
「流しそうめんとスイカ割りを実施」	
新町2丁目自治会（第9支会）	20
「年末餅つき大会」	
新町4丁目自治会（第9支会）	21
「地域友好活動 納涼盆踊り大会の開催」	
河辺町2丁目自治会（第10支会）	22
「活動概要&東京都地域の底力再生・発展事業助成金制度活用事例紹介」	
河辺町8丁目自治会（第10支会）	23
「盆踊り大会で新規自治会会員の勧誘を！」	
藤橋自治会連合会（第11支会）	24
「今井柳田自治会の『柳田夏祭り』」	
今井柳田自治会（第11支会）	25

西分町自治会活動事例報告

西分町自治会
当番会長 栗原 武恒

西分町は、1丁目2丁目及び3丁目の2自治会で構成されており、住民の多くの皆さんからは特に、宗徳寺踏切北側の小高い丘に奉られた「西分神社」、(旧妙見社)が長年にわたり親しまれてきました。

この御社は1312年鎌倉時代(後期)に建立され、以来自治会は毎年11月3日に神社関係者の皆さんと例大祭を執り行っております。

この日は青梅大祭以外12町で唯一、西分町が山車巡行(町内曳き)をおこなっています。

また子供育成会に集う小学生にあつては、山車巡行と共に巡行後自治会傘下各種団体が実施する露店(夜店)を楽しみにしており、すくすくと健会育成の精神に育まれています。



【西分町山車小屋前で全員集合】



【西分神社参道】



【木頭と手古舞】



【西分町山車】



【山車巡行】



【西分神社参道】

交流の場

本町夕涼み会の実施

第1支会 青梅本町自治会
会長 安 濟 文 幸

本町では、イベントの一環として、毎年8月に夕涼み会を行っています。町内には約440世帯が居住しており、220世帯が自治会に加入しておりますが、未加入の世帯も半数を占めている状況です。特に、マンションやその他の集合住宅にお住まいの方々との交流の機会や場が少なく、いかに交流を深めていくかが課題でした。

そこで、途絶えてしまっていた盆踊りのかたちを変えて手作りの「夕涼み会」を行うことを決め、高砂会及び各種団体と協力し実行委員会を立ち上げ、実施に至りました。以来、10年以上に渡り継続しています。町内の各戸には模擬店で使用できる金券付きのお知らせを配布し、自治会加入の有無にかかわらず、参加を募っています。

今年も8月の不安定な気候の中、天候に恵まれ、小さいお子様からお年寄りまでたくさんの方々が模擬店、カラオケ、盆踊り、そして語らい、と夏の一時を楽しむとともに、普段あまり話す機会の少ない近所の方とも交流を深めることができ、更に町内の結束も深めることが出来ています。



立上げ当初、小学生だった子供たちも今は成人し、会場の設営や模擬店の運営などで大活躍しています。また、次を担う子供たちも参加しています。

本町の良き伝統である「皆で力を合わせて造り、皆で楽しみ、そして次の世代へ繋いでいく」ことをモットーにこれからも楽しく、町内全員の参加を目指し、更に交流を深めてより一層の団結が図れるように自治会を始め、関係者全員で努めてまいる所存です。

仲町自治会活動事例報告

仲町二丁目自治会
会長 板垣良也

平成 29 年仲町バーベキュー大会

仲町は一丁目自治会と二丁目自治会がありますが、静寿会・静和会・体育部・子供会及び囃子連等の団体については両丁一体で活動を行っております。

静和会は主に青梅大祭を仕切る団体ですが、夏の大きなイベントであるバーベキュー大会も主催しております。今年も8月27日(日)に盛大に行われました。会場は青信の駐車場をお借りして行っていますが、天候に左右されるため、平成27年、28年と2年続けて雨天のため仲町会館にて開催致しました。しかし、今年は晴天に恵まれ久々に屋外で開催出来ました。静和会主催ではありますが各団体が一致協力して行っております。

当日は朝から資源回収があり、終了後にテント張り、バーベキュー大会、最後の片付けまで全員で行いました。今年の参加者は約50名程でしたが、子供からお年寄りまでみんな親睦を深め、楽しい1日が過ごせたと思います。又、仲町二丁目の住人でもあります、青梅警察署の浅野署長もお忙しいなか参加下さいました。

集合写真



駒木町連合自治会

駒木町連合自治会長 高橋 正

駒木町連合自治会は、駒木町1・2・3丁目の3自治会49組533会員により構成され、専門部及び協力団体合わせ20団体と理事会で運営をしております。

各行事、準備会議等々を含め年80回程各委員の方々の協力を得ている事、又自治会員の方々の協力に感謝するとともに、皆様の協力無くしては運営することが叶わない事を実感しております。では、今回「多摩川一万人清掃大会」に参加した模様をご紹介します。

清掃準備

青梅市内の多摩川全域を対象に、「多摩川1万人清掃大会」が平成29年8月6日（日）に実施され、駒木町もこのイベントに参加しました。駒木町の清掃担当地区は多摩川南岸の釜ヶ淵公園、郷土博物館及び壽香寺下の河原です。

当日朝8時、駒木町の皆さんおよそ147名の方が駒木町1丁目の運動広場に集まり、見目3丁目自治会長から清掃担当箇所、ゴミの集積場等の実施要領についての説明を受け、続いて秋元環境美化推進委員長の挨拶。最後に青梅市役所から支援に来て頂いた ども家庭部長の梅林さんから「多摩川1万人清掃大会」の取組みについてご挨拶をいただき、のちに揃って清掃箇所に向かいました。



清掃風景

駒木町の清掃担当箇所を、1、2、3丁目の各丁目毎に分かれ、清掃箇所に着、早速市から支給されたゴミ袋、軍手を使って、ゴミの収集を行いました。今年は梅雨が早く開けたにもかかわらず、曇り空で雨も多い夏ですが河原には水遊びを楽しむ観光客が大勢来ていました。その脇を足元に注意しながら、河原に落ちているゴミ、空き缶等を拾い集め、30分も河原を歩きながらゴミを集めていると、自然に汗が噴き出てきます。熱中症に気を付け、ペットボトルのお茶を飲み、河原の清掃を行いました。1時間もすると、足元にはゴミは見当たらなくなり大勢で手分けすれば、思ったより早くきれいになるものだと感心させられます。これを見て、水遊びに来ていた観光客にも、良い意味での注意喚起がされたならば良いなと思いました。観光客の中には外国の方もおり、清掃している様子を興味深く見ていました。地域で協力して美観を保っていることが、少しでも理解されたのではないかな……。

河原の清掃は、柳淵橋付近から鮎美橋付近まで行いましたが、バーベ・キュウの跡も比較的少なく、ゴミも少ないようでした（環境意識の向上?）。ただ、煙草の吸い殻が目立ちました。収集されたゴミは郷土博物館前とバス停「駒木野」付近の大協前の2か所に、各々集められ、環境美化委員の方達によって、燃えるゴミ、燃えないゴミに選別されました。集積されたゴミは、1、2丁目グループと3丁目グループ併せて、全部で10袋程度となりました。

去年は15, 6袋でしたので、かなり少なかったようです。

……天候の影響もあるのかな?……



地域の和

第3支会2ブロック

野上第一自治会 森田充禧

各自治会、自治会員の皆さんが行事を通して地域で助け合って力を出し合い住みよい地域社会へと奮闘している昨今ですがかつての時代とは変わり職場環境や仕事のあり方、情報もあふれ趣味思考も多様化し地域のあり方も様変わりし以前のように住めば自治会に加入するという時代ではなくなり、自治会の魅力や必要性、働きかけが無ければ加入は乏しく、会員は高齢化し自治会活動もしがたくなっているのが現状ではないのでしょうか。

子供神輿と盆踊りで「夏祭り」



子供みこし町内巡行



盆踊り大会

恒例の夏祭りは、連合自治会の盆踊りと並行して春日子供会、親和会、安協など自治会内の各種団体で実行委員会を結成し、連合自治会の盆踊り（7月末）後、例年8月第2土曜日に実施しています。

盆踊りの練習は2回で前半は子供会、後半は一般の方の練習で、婦人部の方にご指導して頂いています。

子供達や親、役員、自治会員の皆さんとの出会いの場でもあり親睦交流を深めあう機会になっています。

実行委員は各係を担当し、前日はお神輿や看板の花付けなどを行ない、当日全実行委員が集まり、花場づくり、模擬店の準備、テント張りなどを行ない、午後からの子供神輿町内巡行が行われ賑やかになり、大人達が見守る中子供達が元気に張りきっています。

焼きそば、かき氷など模擬店は親和会、お神輿は子供会、盆踊り手品などは自治会が中心になって行っています、子供から大人まで輪になって春日の森にこだまし夏の一時を楽しんでいます。

大門第二自治会の活動事例

大門第二自治会

自治会長 須田保宏



…①

①の写真は、ファミリーゴルフのスナップ写真です。ファミリーゴルフはゲートボールとともに当自治会の事業として取り込んでいるもので、毎週火曜日と木曜日に計画的に実施しています。



…②

②の写真は、朝の青空教室で健康太極拳を行なっているスナップ写真です。毎週、火曜日から金曜日まで、午前7時から7時30分まで、稲荷下児童公園で行なっています。

いずれも、当自治会の事業として計画されたもので、参加人数は少ないが、双方ともに、5年以上継続実施されています。また、これらの活動が参加者の心と体の健康維持に寄与していると確信しています。

第34回第3ブロック地区運動会大会 盛り上がった赤い軍団

谷野自治会
自治会長 増田 擴

好天に恵まれた秋の一日谷野チームは準優勝の喜びに沸きました。

運動会練習 9月10日、9月24日、10月1日 いずれも日曜日10時～11時30分

運動会の本来の目的である、優勝や勝つことが目的ではなく健康に良い体を動かす事、地域の輪作り、を基本にして”練習会も本番も同じ、をスローガンに、子供や老若男女あわせて毎回70余名の参加得て地域自慢の自前の愛宕グラウンドに集まっての三日間にわたる練習会でした。

練習風景

練習では、夫々勝手なことを言い合いながら・・・、楽しい冗談の中にもなるほどな一、と感心したり人の意見に啓発されながら、練習の内容も徐々に深めてゆく様な雰囲気での練習会でした。

メンバーの中には綱引きのプロ級のわざと理論を持った者もいて、”前の人との間隔はあまり広く空けるな、綱は水平に一本の棒の様に一直線になる様に、空を見上げて引け、等と、蘊蓄を披露する者もいて日を追って競技の様に成って行く様でした。玉入れは、一度に10ヶ近くの球を拾い集めて籠をめぐらして投げ上げる人や、玉を拾っては選手の足元へ投げ返す役を受け持つ者等ほめたりけなしたり、リレーではリオ五輪の四人の侍のバトン渡しをあーだこうだと言いながら、真似をしての練習でしたが、成果が本番に生かされるかどうか、ともあれ和気あいあいの和やかな練習会でした。

かくしてサーー・本番！

10月8日の空は見事に晴れ渡り、第三支会第3ブロックの体育委員を中心とした、6月を皮切りの多数回にわたる打合せ、前日からの準備作業等其の功に報いるかの様な運動会日和となった。

練習に参加の70余名はもとより各種団体の会員を含めざっと200人を超える参加者はテントの内外に溢れる運動会の目的に叶う盛況の中で開始された、我がチームはそれぞれの競技に積極果敢に挑戦し何れも好成績を収めました。

さて対抗種目の戦績は

- 綱引き・・・2位 地の利を得られなかったの言い訳も！
- ムカデ競走・・・3位 紐の結び方かねー
- 大縄跳び・・・2位 よくやった！
- 五色玉入れ・・・女1位 男4位 混合3位

練習では常に男がリードしていたのにね
地区大会役員対抗フラフープリレー・・・2位

練習中にフープ首吊りの様な試技も有り本番を懸念してたけど結果オーライだった

年代別リレー・・・A2位 B2位 運動会の花でした、熱狂でした

そして総合成績・・・見事☆準優勝☆でした

自治会館での反省祝賀会は大いに盛り上がりをもって楽しい一日が終了しました。



天を仰いで



ばっちり揃った8本の足



男女混合五色玉入れ・・・目標は空ではないぞ・・・



でも2位でした
年齢差65歳

準優勝の栄に輝く



青空のもと、見事走り抜けたABチーム

「納涼盆踊り大会」

第3支会 木野下自治会
自治会長 牧 英友

平成29年7月29日当自治会吉例の「納涼盆踊り大会」が行われ、子供連れからお年寄りまで多くの人出で賑わいました。



7月9日 舞台設置



納涼盆踊り大会 当日午前中はテント設置・提灯や紅白幕の飾りつけを行う。



会場入り口の大看板



夕方から雨が降り出し、開始早々は小雨模様だったので、舞台の周りで、子供の部のうち4曲を踊った。



雨が本降りとなったので自治会館に移動、会館の中で残りの曲を踊った。最後に東京五輪音頭をみんなで踊って大いに盛り上がり、交流の輪が広がり、地域の底力向上を図ることができた。



また5時半過ぎから来賓や自治会員、地域の人たちが集まり始め、雨ということもあってテントの中や臨時に設置したブルーシートの中で、ビール片手に賑やかに談笑する姿が見られた。

今寺榎自治会事業の紹介

2017年（H29年）

今寺榎自治会は平成28年4月に旧今寺東自治会と旧今寺東第一自治会を統合して出来た新しい自治会です。合併当時263軒の会員数で今寺地区では2番目に大きい自治会となりました。

自治会行事は、旧東第一自治会も旧東自治会も大差はなくスムーズな移行が出来ました。大きな行事は、春の親睦バス旅行、今寺夏祭り（盆踊り）、3ブロックの運動会です。

今年の親睦バス旅行は「横須賀・三浦港」で総勢45名の参加が有りました。車中ではビンゴ大会、カラオケ、おみくじ等のゲームで盛り上がり、また三崎港での海産物の買い物ではお土産を沢山買われた人もいて、大変満足されました。今寺夏祭りは、今寺西自治会と共同で東京都の補助を受け、盛大に行い、参加団体も7団体と地域を挙げてのお祭りです。



水中散歩と三笠公園



「盆踊り」と大盛況の模擬店
焼き鳥/焼きそば/かき氷



「夏祭り」は地域とのコミュニケーションや自治会入会促進にも繋がりました。

運動会は、谷野自治会、木野下自治会、今寺榎・西自治会、4・5丁目自治会の4チームです。大勢の参加が有り、テント内では豚汁、飲物も振る舞われ会員の皆さんには大変満足されました。



今寺榎・西チーム

その他にも地元の神社（常盤樹神社）の行事にも参加を行い、会員相互の親睦を図りました。

今後は、会員や地域住民との交流の場を設け、安心/安全で明るい自治会を作りたいと思います。また、新しい家が沢山出来ていますので、自治会の入会促進を今以上に行い、地域の防犯、コミュニケーションを図りたいと思います。



三ブロック運動会
各チーム、力の入った
綱引きです

第三支会
今寺榎自治会 自治会長 中間義春
今寺西自治会 自治会長 須田英雄

第4支会 和田町1、2丁目連合自治会

“赤ボッコ”を守る！

連合自治会長 和田 敏信 会員数 289世帯

和田町が誇る景勝の地は、2ヶ所あります。一つは、天狗岩と呼ばれる景勝の地。一つは、赤ボッコと呼ばれる景勝の地です。天狗岩は、明治初期に編纂された、皇国地誌、日影和田村誌の中で『樹木鬱葱怪岩奇樹疊列トシテ奇観ヲナセリ』と紹介されています。江戸時代後期には既に知られていた景勝の地ということがうかがい知れます。もう一つの景勝の地、赤ボッコと呼ばれる三等三角点のある場所は、ここ、10年の間に、瞬く間に、口コミやインターネットなどを通して、広く知られるようになりました。「赤ボッコ」という名称は、口伝によれば、大正12（1923）年9月1日に起きた関東大震災の強い揺れで、現在の三角点付近の表土が崩れ落ち、赤土が露出し、赤土の崖地が地元から見えるようになったことから、そう呼ばれるようになった名称のようです。確かに西側は山肌がえぐられています。その後、この西側の斜面は、和田町自治会が杉を植林し管理する場所となりました。平成20年になり、和田町自治会は、和田町森林組合の協力を得て、東京都の「花粉の少ない森づくり運動」の一環として、杉の木を伐採し、山桜を植樹するに至りました。赤ボッコの景勝の地としての第一歩でした。杉が伐採される以前は、北から西側にかけては、眺望はほとんど期待できず、わずかに東側の東京方面が見えるくらいでした。杉が伐採されるまでは、赤ボッコは、三等三角点がある場所としては知られていましたが、眺望が効く場所となると圧倒的に天狗岩の方に人々は足を向けていたようです。杉伐採後の赤ボッコは、特に、西側から北側にかけて、大岳山や川乗山を始めとした奥多摩の山々、奥武蔵の山並み、さらには、遠く日光連山まで眺望が開かれるようになりました。その後、徐々に東側の広葉樹も森林組合の協力によって一本、また、一本と伐採され、東側の眺望も開かれていきました。結果、関東平野、その先に聳える筑波の峰、都心のビル群、新しくできたスカイツリーも眺められるようになりました。スカイツリーが完成した時には、スカイツリーが眺められる場所として話題を呼びました。平成27年には、森林組合の協力の下、ソメイヨシノ、ゲンカイツツジの苗が植樹されました。平成28年には、当時の自治会長手作りの案内板が設置され、さらに周囲の景観が楽しめるようになりました。

現在、赤ボッコは、1月元日の初日の出、5月の新緑、10月後半から12月上旬にかけての紅葉シーズンを中心にして、年間を通して多くの人々が訪れる場所となりました。ブログなどに紹介されている、赤ボッコ登頂記録などを読みますと、低山ながら眺望が素晴らしいとの感想が目立ちます。和田町森林組合の協力の下、赤ボッコの現在の形を造り、毎年、整備・管理してきた和田町連合自治会としては、このうえない喜びを感じる時です。「長淵山ハイキングコース」、「青梅！水と緑と梅の道」の一端を担う、和田町赤ボッコという景勝の地は、地元、和田町の大切な観光資源であるとともに、青梅市の新しい、大切な観光資源になりつつあります。現在、梅郷地区では、市の梅の里再生計画に基づき、梅樹の植樹が進んでいます。かつての梅の里が蘇り、紅白ジュータンを敷いたかのような景観が、赤ボッコから俯瞰できることを夢見つつ、今年も森林組合の協力の下、赤ボッコの整備・管理は続けられていきます。

奥多摩の山並み



関東平野・筑波の峰



下刈り作業



第4支会 梅郷6丁目自治会

上郷文化祭の開催

自治会長 高野公男



当自治会では年間行事の中に独自の上郷文化祭があります。開催時期・期間は毎年11月の最初の土曜・日曜日の二日間で平成9年から始まり今年で20年になりました。

作品は、お年寄りから小学生までの幅広い出展者で年々趣向をこらして展示を実施しております。

当自治会の会員数は年々減少傾向にありますが、それでも200点近くの出展品が出て、所狭しと飾られました。

一階ブースは手塩にかけて育てた農産物や菊鉢、自慢の犬や猫のペット写真そして今年は武州青梅三田弾正手作りの甲冑6領、二階ブースには手工芸品、絵画、写真、短歌、押し絵、ちぎり絵、陶芸品、子供会から移動教室で作った日光彫り作品等、西中美術部の絵、そして地元に住んでいる鍛金彫刻家・漆芸作家や洋画家の先生方の作品も展示され、花を添えて下さいました。



第5支会 忠霊塔の定期清掃

第5支会長 宮野良一

沢井市民センター西側に設置してある忠霊塔には、154柱の戦没者の銘板とともに御霊が祀られています。

第5支会では、各団体と連携し、定期的に忠霊塔の清掃を行っています。

以前は、戦没者遺族会で清掃を行っていましたが、戦没者遺族の高齢化にともない、平成27年度からは遺族会に加え、第5支会、元自治会長会および防衛協会において定期的に清掃を行っています。



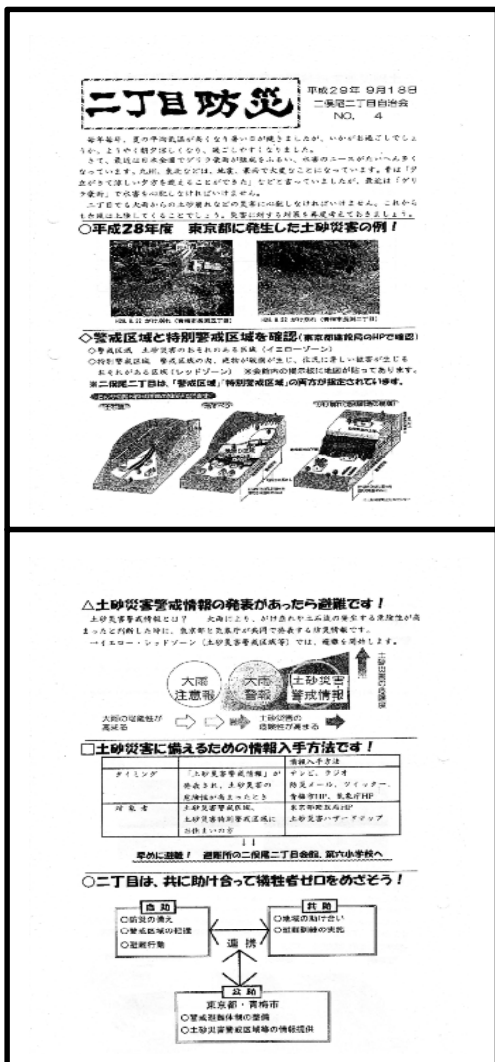
【各団体の実施月】

- ◆戦没者遺族会：12月～6月
- ◆第5支会：7・8・9月
- ◆元自治会長会：10月
- ◆防衛協会：11月



第5支会 二俣尾2丁目自治会

防災広報と防災備蓄



防災広報

二俣尾2丁目自治会では、平成28年度から「二丁目防災」という名前の防災広報を不規則の発行ですがA4両面刷りで発行を継続しています。

No1は各家庭の日ごろの備え。一時集合場所。市の指定避難場所から「災害時の市民の動きと備蓄品一覧」

No2は熊本地震と土砂災害から「情報収集、避難行動、避難の決断、土砂災害の特徴と前兆現象」

No3は防災・危機管理アドバイザーの山村武彦さんの講演（阪神大震災、熊本地震、糸魚川大火から学んだこと）から「自助・近所・共助でつくる災害に強いまち」

No4は平成28年に東京都で発生した土砂災害。警戒区域。特別警戒区域の確認。土石流地すべり。がけ崩れ。災害に備える「災害発生例、警戒区域などの確認、避難・情報入手」

防災備蓄

平成24年3月に二俣尾2丁目自治会館玄関横に備蓄倉庫（1.5坪）を自治会館に併設する形で設置しました。

右の表のとおり「災害対策用品」「保存食食料」「衛生用品」など地元企業の協力を得て毎年購入し充実させ、災害に備えています。

二俣尾2丁目自治会防災倉庫防災備蓄用品
平成28年10月21日

災害対策用品		保存食食料	
品名	数量	品名	数量
毛布	20	保存水500ml	537
掛布団	1	保存水1500ml	8
ラッシュ	3	カンパン115g	32
懐中電灯	5	カンパン110g	43
ヘッドライト	10	パンですよ	235
ローソク	10	保存食	80
ロープ	10	日飯	10
手袋・マスク	一式	ドライカレー	28
プラカード	1	五日煎飯	48
		きのご飯	150
		山菜おこわ	150
		とりそぼろ	100
		保存水2000ml	240
		松茸ご飯	16
		梅干	25
		梅干	25
		豚骨煮	10
		ハンバーグ蓋込	10
		さば味噌煮	10
		豚汁	10
		巻んぴらごぼう	10
		肉じゃが	10
		ポークカレー	10
		らーめん	10
		牛丼の具	10

自治会敬老会

沢井3丁目自治会

自治会長 宮野良一 世帯数 84世帯

(自治会敬老会)

沢井3丁目自治会では、毎年11月3日文化の日に自治会主催の敬老会を行っています。この事業は、既に30年以上にわたって継続して実施されています。

事業は自治会内のカラオケグループが呼びかけて始まったものですが、多くの自治会員がその事業に協力し、みんなで地域の高齢者に楽しんでいただいています。これからも大切に続けていきたい事業です。

(敬老会参加団体)

参加団体等の状況は、当初カラオケグループ、お母さん方による踊りのグループ、演芸好きなグループなどでした。現在は、カラオケグループが「美空会」に、演芸好きのグループはお芝居を上演する「一座」に発展しています。また、踊りのグループは無くなりましたが、子供会が元気に参加するとともに日本舞踊の先生などが個人的に参加してくれます。

(招待者の状況)

自治会員である67歳以上の方を招待者としています。招待者は皆さん大変楽しみにしていますが、対象者90人程度の内、高齢者施設や病院に入っている方、高齢で外出困難な方を除く40人弱の方が参加してくれます。

(敬老会プログラム)

平成29年度プログラム

(午前の部)

若草子供会：踊り（虹の架かる明日へ、三四連ソーラン節、組体操「絆」）

福島長男：手品、美空会：カラオケ（6曲）

(午後の部)

河藤扇舞先生：日本舞踊（島田のブンブン）、美空会：カラオケ（3曲）

市川信明：カラオケ、良ちゃん一座：お芝居（歌舞伎十八番「助六」）



第6支会 小曾木3丁目自治会
秋空の下 スポーツ大会を開催

自治会長 木 村 寛 世帯数 110世帯

私たちの自治会では、従来、毎年秋にスポーツ行事を行ってきました。近年は小運動会を主体に実施していましたが、少子高齢化により出場者の選考が難しくなり、また準備にも負担がかかるため、平成28年度より2年に1回、ウォーキングを主体とした行事を行うことを決定しました。

今年は、開催の年に当たり、去る11月3日に「小曾木の里山を歩く会」と合わせて「グランドゴルフに親しむ会」を実施しました。参加の申し込みは、ウォーキングが91名、グランドゴルフが49名、総計140名（82世帯）で参加率は約75%になりました。

当日は、午前9時30分に小曾木市民センターグラウンドに集合し、開会式の後、快晴の秋空の下、ウォーキングとグランドゴルフが開始されました。

ウォーキングは、5班に分かれ3分おきに市民センターを出発し、山頂にラジコン飛行場がある山道を越えて厚沢通りを歩き花木園で休憩を取り、小曾木街道の側道を通り、約2時間をかけて全員無事帰着しました。

グランドゴルフは、当地区高齢者クラブ「錦秋会」の指導により、10チームに分かれ初心者も交えて和気あいあいの内にゲームを競い合いました。

閉会后、地区ごとに行われた慰労会では、今回の行事内容の方が、家族で気軽に参加できて楽しいと言う声が多く聞かれました。



盆踊り大会

第六支会 小曾木 4 丁目自治会（85世帯）

当自治会では毎年7月の下旬に盆踊り大会を開催しています。

梅雨の時期でもあり例年、天気に悩まされていましたが今年は晴天に恵まれ、また夕立もなく絶好の盆踊り日和となりました。

13時に自治会役員30名と自治会外部団体の高齢者クラブ、ソフトボール部、インディアカ部、消防団からの応援十数名、当番隣組のご婦人方等50数名が集まり、櫓の組み立て、テント6張り設営、花掛け設営、ぼんぼり設置、模擬店など準備を行いました。猛暑の中の作業ですが、毎年の事なので、皆手慣れた作業で無事に滞りなく進みました。

18時より「盆踊り大会」が開始され、自治会傘下の隣組で構成された各大組、各団体、子供会が順番に櫓に上がり、他の参加者は櫓の周りを輪になって踊ります。また、当自治会の特別会員の特別養護老人ホームの入所者と付き添い職員の方々30余名参加され、踊りの輪に入って楽しんでいただきました。

子どもたちには、事前に練習日をもうけ踊りの練習をしてもらいました。また、自治会と消防団OB有志から打ち上げ花火が提供され、夏の夜空に花を咲かせ、子どもたちはおおいに盛り上がりました。

模擬店では生ビール、焼き鳥、焼きそば、かき氷、ポップコーンを用意し、自治会員の懇親の場として、盛会の内に終了する事が出来ました。



ふれあいの輪の広がり と 連帯感を高めよう！

第7支会 成木5丁目自治会 会長 井上敏明

成木5丁目自治会もライフスタイルの変化から高齢化の現実はありますが、地域に暮らす人々は年齢に関係なく元気です。

自治会活動は毎月各種のイベントが行われており出られる人はほぼ全員参加で取り組んでいます。

特に、毎年夏に行う「薬師如来縁日祭」と1月の「どんど焼き」は健康を祈願しつつ地域の交流の場として賑やかで楽しいイベントです。

「薬師如来縁日祭」は、ちょうどお盆の時期に開催します。ですから地域外で暮らす人も家族で実家に帰って来たタイミングで子供連れで参加してくれるから賑やかです。会場では、生ビールやかき氷、焼き鳥、鉄板焼き、やきそばなどプロ級の腕前の役員・自治会員が腕を振るってくれます。隣接する5丁目児童遊園では子供向けのゲームなども行い小さな子も楽しめる企画も行っています。

縁日祭の会場でもある5丁目児童遊園は毎月自治会員が清掃・手入れをしてきたことからきれいな芝生の公園になり地域外の親子連れもよく遊びに訪れます。地域の道路も自治会員や5丁目地内にある採石会社の方が清掃を続けてくださっているためきれいに保たれています。

今年、従来の自治会館が老朽化したため47年ぶりに自治会館の建替えを行っています。自治会員はじめ地域関係者の永年に渡る努力と行政のご支援をいただき実現することができました。関係の皆様へ感謝申し上げます。成木地区は土砂災害、風水害、大雪による孤立など常に自然災害の恐れと隣り合わせの地域です。この自治会館は災害時にも支援活動や避難拠点として活用できるようにとの狙いと同時にバリアフリーに配慮した高齢者でも使いやすい設計にしました。そして、普段の生活の一部として「ちょっとお茶する？」というような気軽に立ち寄れる地域のコミュニティ活動拠点としてどんどん活用することで、ますます元気な地域にしていきたいと考えています。

薬師如来縁日祭の様子

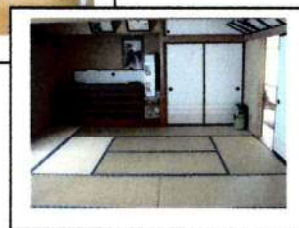
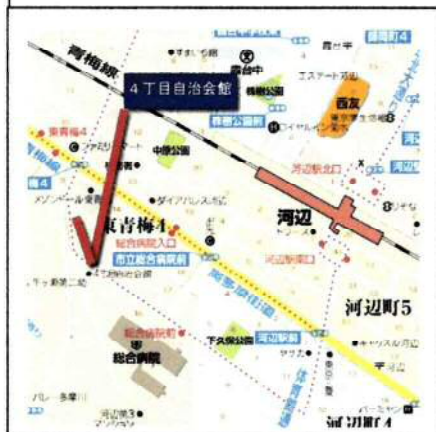


新自治会館（建設中 11月2日現在の写真）



第八支会東青梅4丁目自治会 紹介

自治会長 井上 教之



東青梅4丁目自治会の所在地は、河辺駅西方から市役所手前までに位置し、生活圏に位置する行政施設は市役所、保健所、総合病院、税務署を持ち、買い物には幾つもの大手スーパーマーケット、さらに青梅線河辺駅があり、これらは徒歩15分以内に位置しながらも、平坦地で静かな居住環境を享受する、青梅の田園調布と言える町内です。 写真左より 自治会館の場所 自治会館正面 1回ホール 2階和室3室

>> 活動は大別すると、3つにまとめられます <<

自治会 定例活動

- 1 定例自治会行事 支会開催行事
- 2 環境美化 資源回収 年12回実施 (写真研修風景)
- 3 町内清掃 綺麗な街づくり活動 年12回
- 4 夏祭り 縮小型に変更
- 5 節分祭豆まき 町内子供を交えた豆まき



親栄会行事 (壮年の会)

- 1 ゲートボール 青梅市代表過去2回東京都大会へ参加 (上写真)
- 2 グランドゴルフ
- 3 年2回 博物館等、日帰り教養研鑽活動 (下写真)
毎回20数名の参加
- 4 カラオケ 15万曲の歌いたい放題 月2回



交流行事

- 1 カラオケ懇親会 月2回任意参加による集まり
- 2 西分町との交流
5月2日西分町山車、わが町内へ巡行迎え入れ、
5月3日青梅大祭参加、11月3日西分町秋の例大祭、それぞれ
山車の巡行に参加



第八支会 東青梅六丁目自治会

自治会長 高橋 誠

東青梅六丁目自治会創立50周年記念式典

平成29年3月26日東青梅六丁目自治会館にて執り行われました、歴代自治会長や自治会役員など約70人余りが参加して式典をお祝いしました。六丁目自治会は霞丘陵西側南側に位置し師岡神社を中心にして、現在230世帯の自治会です。



◎ 自治会活動

1、防災・互助活動

自主防災組織や防災訓練、消防団活動への支援などを行っています。

2、広報活動

自治会の活動の広報誌の発行や市役所などのお知らせ回覧など。

3、交通安全・防犯活動

交通事故を防止するための交通部を組織し交通安全活動を推進しています。

また、防犯に向け街路灯の保守や防犯活動支援などを行います。

4、環境美化

年2回の町内美化清掃、道路、神社、公園、などの清掃、資源活動。

5、文化・交流活動

住民相互の親睦を深め、町づくりの為、夏祭り、運動会、餅つき、など活動を主催。

6、スポーツ・健康づくり

自治会行事として、町内スポーツ大会、歩け歩けハイキング、ソフトボール、ビーチボール、グラウンドゴルフ、など健康づくりを展開しています。

7、福祉活動・募金

民生委員と連携しながら会員の福祉向上に取り組んでいます。

「流しそうめんとスイカ割りを実施」

第九支会 新町2丁目自治会長 本橋 義雄



ここ2年ほど、新町2丁目自治会では、都の地域の底力発展事業助成金を受け、夏休みを利用して「流しそうめんとスイカ割り」を実施しております。

天候に恵まれて実施できるだろうか、また、地域の子ども達に参加してくれるだろうかと役員も気をもむところですが、平成29年度は快晴に恵まれ盛大に行うことができました。

自治会会員の加入を促進するという目的を持っての行事ですが、事業終了後に、1～2世帯の方が自治会に加入していたところでした。

さらに、参加される子どもさんの父母は30歳代の方々が多く、私達役員や参加者同士との何気ない会話でコミュニケーションを図っていることが、子ども達の日常生活に安定感を作り出す一つの契機となっているのではないかと考えております。

そして、参加した父母が「30年後に地域活動の主役になったとき」、また、参加された子ども達が「次世代の若いパパ、ママになったとき」、自治会の活動が「誰でも気軽に参加でき、地域とつながっているという安心感が得られるのだなあ。」と感じていただければ幸いです。

スイカ割りの後、子ども達の水鉄砲遊びでの笑い顔が、真夏の日差しに輝くのを見ると、準備に取り組んだ私達役員の疲れを軽減させてくれるひと時でもあります。



(平成29年度参加者；役員を含め約120人)

年末餅つき大会

私たち新町四丁目自治会では、毎年12月に餅つき大会を実施しています。この餅つき大会は、平成19年から毎年実施しており、新町クラブの駐車場を借りて行っています。餅は木臼と杵でつく昔ながらのやり方で、つき手と返し手の息をあわせてついでいきます。

餅つきは、前日の準備から始まります。20～25kgのもち米を洗い、水に浸しておきます。当日は、朝8時ごろから丸底なべで湯を沸かし、せいろに布巾を敷いてもち米を仕込み蒸します。木臼はお湯で洗っておき、杵は水の張ったバケツに入れておきます。もち米がいいころ合いに蒸されたら、せいろから木臼に移し、ある程度の塊になるまで杵で練り込みます。練り込みは杵を持った3人が木臼の周りをまわりながらもち米を練っていきます、もち米が手で返せるくらいの塊にしていきます。



手で返せるくらいになったらいよいよ餅つきです。餅つきは、つき手と返し手の息をあわせ、リズムよくついでいくのがポイントです。

最近では、一般家庭で杵と臼を使って餅をつくこと自体ほとんどありません。そのため皆さん最初はおっかなびっくりですが、何度かつくと要領がわかってきて、最後は歓声をあげながら楽しく餅をついています。

つきあがった餅は、からみもち（あんこ、きな粉、大根おろし、納豆）、磯部巻き、大福、のしもちにしてみんなで食べます。

みんながついた餅をみんなで食べるのは、とてもおいしく、かつ楽しいひと時です。特につきたての餅の弾力とやわらかさは格別です。

私たち新町四丁目自治会は、これからもこの楽しさをみんなで支え、続けていきたいと思えます。

納涼盆踊り大会の開催

第10支会

河辺町2丁目自治会
会長 松本 吉弘

私達の地域では、自治会世帯の少ない自治会もあり行事によっては、合同で開催を実施しています。盆踊り大会は、河辺町1、2、3丁目と地域の3マンション自治会と合同で、近隣友好を図るべく河辺南自治会館で実施しています。今年は、東京都地域の底力発展事業助成金を申請し、尚一層の地域交流、自治会加入促進を図るべく、計画を致しました。



役員会の開催、ポスター作成、4回の練習日、自治会未加入世帯への案内チラシの作成等、入念な準備をして取り組みました。



【盆踊り風景】



子供達が参加賞を手にして



焼きそば、かき氷も



櫓も残念そう 😞



残念ながら、開催時には雨が降り始め、南自治会館の中での盆踊り大会になりましたが楽しく、地域友好を深める事が出来ました。これからも、各自治会が協力し、地域を盛り上げて活きたいと思っています。



<活動概要>

河辺町八丁目には、市民の憩いの場として知られる『わかぐさ公園・野球場・市営プール』を囲む住宅地に位置し、2大行事の一つの「納涼盆踊り大会」は7月に『わかぐさ公園』内広場の特設会場で、もう一つの「餅つき大会」は12月に公園の南にある自治会館「若草会館」前の駐車場で、毎年それぞれ盛大に実施しています。

この2大行事のほか、定期的に資源回収、防犯・防火パトロール、避難訓練、環境美化・植栽等の諸活動を、子ども会や高齢者倶楽部と協力し合っており取り組んでいます。自治会組織は、1年任期で輪番交代の組長(12名)と、2年任期で選任される役員(37名)で構成され、子ども会育成会のメンバーが自治会の役員へ、自治会役員が高齢者倶楽部のメンバーへと、ローテーション人事も行われています。

<課題>

環境に恵まれたこの地に、当自治会が創立されたのは1972年(昭和47年)で、今年で45年目を迎えました。この間に町内は宅地化に伴い多くの住民が増えましたが、必ずしも転入者＝自治会入会とはならず、加入率は低迷したままです。更に近年では会員世帯の高齢単身化による退会者や、輪番で巡ってくる組長の任務からの逃避による脱会者が増えつつあり、会員数は年々減少傾向を辿って今や200名のラインをかなり割り込む厳しい状況にあります。

会員数が減少して財政面が厳しくなりつつも、最低限の年間定例行事は維持しつつ毎年継続して傳承していく必要があります。ところが昨年の「納涼盆踊り大会」の決算では、過去の繰越金を食い潰し更に大幅赤字になってしまいました。

<助成金制度活用>

そんな折に、お隣の新都一丁目自治会(第9支会)さんとの交流で、『東京都の地域の底力再生事業助成金制度を積極的に活用して様々な器具備品等の購入資金に充てている』とのお話と貴重な助言を頂きました。早速制度活用を決め、試みに12月の「餅つき大会」を対象事業に申請してみました。自治会単体での助成金は20万円が上限で飲食費は対象外です。’旧式の鉄パイプ型テントは重くて怪我をしやすく組立が面倒だ!’との声が以前からあったのでスマートワンタッチ方式の新型テントを購入(14万円)することにしました。東京都との申請から認可迄の手続きは煩雑で面倒でしたが、得た助成金は効果的で、新型テントの評判も良く、満足のいくものでした。



(購入したテント ↑)

それに続いて、今年7月実施の「納涼盆踊り大会」で再度助成金を申請し、二つ目の新型テントを購入しました。今年の盆踊り大会では、模擬店を2つ(味噌こんにゃく、ハイボール)増やし11店舗で来客増を目指しつつ、知恵と工夫で無駄な出費を抑えながら助成金の助けを借りて、何とか赤字決算を回避することが出来ました。



(購入したテント ↑)

この東京都の助成金制度は、同一事業で2度申請できないので、来年以降はこの天の恵みは期待できません。でも財政が厳しいからといって、ある時から急に事業を止めたり簡単に規模を縮小する訳にもいきません。

自治会活動の財源確保には、会員からの会費収入と各種行事での寄付収入等を維持する以外に策はなく、財源と同時に必要な人材の確保の面からも、諸事情による退会・脱会者の減員分を穴埋めすべく転入者への自治会加入促進が必須となります。

日頃から市にお願いしている、行政窓口での転入者への’自治会加入勧誘水際大作戦’の徹底した展開に大いに期待しつつ、自治会としても、日々地道に新規転入者への’お宅訪問’を続けていくつもりです。

第11支会 藤橋自治会連合会

盆踊り大会で新規自治会会員の勧誘を！

連合会副会長（藤橋西側自治会長） 木村秋雄

我が藤橋自治会連合会では、毎年7月に柚保葛神社境内で恒例の盆踊り大会を実施しています。今年は7月22日に実施しましたが、お陰様で好天に恵まれ、例年になく盛り上がり地域住民の絆を一層深めたところです。

しかしながら、盆踊り大会に参加して下さる踊り子・来賓・各役員等の皆様方は、子供さん達を除いて毎年同じ顔ぶれであることに気が付いたのです。

昨今、各自治会では自治会会員減少を何とか食い止め、また新規会員の加入が喫緊のテーマとなっています。当連合会でもこのテーマについて役員会議等で話し合いを数年前から実施してきたところですが、なかなか会員減少を食い止め、また、新規の加入者が増えていないのが実態です。



そこで今年の盆踊り大会では、何とか自治会未加入世帯の皆さんも参加してもらい、その結果、会員に加入してくれればとの思いで、大型の盆踊り大会ポスターを自治会掲示板以外にも掲示し、また、大会本番では自治会役員の中から担当者を指定し、盆踊り大会に参加された自治会未加入者に対し、積極的に声をかけ接待等を実施しました。

最後に、我が連合会では、今後もあらゆる自治会活動を通じて地道に新規自治会会員の勧誘及び会員減少に努めたいと思っています。

今井柳田自治会の『柳田夏祭り』

今井柳田自治会

会長：八木正道

今井柳田自治会は、青梅市の最も東側、埼玉県入間市と接し、霞川に沿って、今井城址を取り囲むようにあります。私は六年前に入間市から越してきましたが、自分の住む地域はどんな所か、大変興味をもち、今井市民センターにある図書館で、郷土史の本を何冊か借りて読んでみました。それには、このあたりは、大昔から人々が住んでいたこと、かつて今井城があつて、その周りで土器、石器等が発掘されていること。北方に緑豊かな丘陵が東西に横たわり、それに沿うように霞川が流れ、その流れに沿うように森が茂っている。柳田自治会は古い歴史と、豊かな自然の中にあります。

『柳田夏祭り』は今年で35回の歴史を重ねてきました。初めの頃は、二日間に渡って行っていたそうですが、さすがに今は、一日です。開催日は、八月の最初の日曜日、雨天決行、と決まっています。会員130世帯くらいで、参加者は、大人・子供あわせて、毎年150名を越します。

事前に、手伝い要請の回覧を回しておいて、当日八時から準備に取り掛かります。11時頃から祭りが始まり、終了はいつも、三時頃を予定しています。前庭は子供専用で、スイカ割り、かき氷、ポップコーン、プールなどがあります。会館内は、歓談あり、カラオケ・盆踊り(それぞれ、前半後半)ありで、祭りはいつも、大変な盛り上がりです。

役員を務めていて、いつも感じる事があります。16隣組ある中で隣組長さんしか参加していない隣組があること。また参加者はいつも、大体同じ人ばかりであること。カラオケ・盆踊りが大人中心で子供の出番がないこと。等々

今年は実行委員長として、子供達の出番を作ろうと、少し工夫を試してみました。カラオケの始めに、子供会に要請して、その場で子供を集めてもらいました。そして舞台のボードに、模造紙に書いた歌詞を掛け、ネットから録音した『思い出のアルバム』のカラオケを流し、みんなで歌いました。集まった子供たちは10人くらいで、障害のある子を取り囲む様にして、子供達が歌ってくれました。

又、越してきた新しい人達に、自治会勧誘を進める前に、自治会を知ってもらう絶好の機会と考え、祭りに招待することにしました。会場に招待席を設け、二家族が参加してくれました。結果は、残念ながら入会してもらえませんでした。決して無駄なことではなかったと思います。

来年は、子供達に歌と同時に、『子供盆踊り』も考えています。又、越してきた、新しい人達を、引き続き招待したいと考えています。



青梅市自治会・支会活動事例集
(平成29年度版)

平成29年12月発行

編集・発行：青梅市・青梅市自治会連合会

問合せ：青梅市市民部市民活動推進課

〒198-0102 青梅市東青梅 1-11-1

TEL 0428-22-1111

FAX 0428-21-0542

青梅市 HP <http://www.city.ome.tokyo.jp>

メールアドレス：div1003@city.ome.tokyo.jp

青梅市自治会連合会 HP <http://www.ome-rengou.jp/>

